

九州地方整備局 入札監視委員会第一部会 審議概要

■開催日及び場所			令和7年6月23日(月) 福岡第二合同庁舎 共用第4・5・6会議室		
■委 員			小林 登(弁護士)、濱田 秀則(大学院教授)、原口 健太郎(公認会計士)、堀江 広重(経済団体 専務理事)、前田 隆夫(新聞社 論説委員)		
■審議対象期間			令和6年10月1日～令和7年3月31日		
■抽 出 案 件			総件数 13件	(備考)	
抽出案件内訳	工 事	一般競争(政府調達)	1件	・審議対象期間内に契約した工事等の件数を報告した。 ・審議対象期間内における指名停止等の状況を報告した。 ・審議対象期間内における談合情報を報告した。 ・審議対象期間内の工事における再度入札一位不調状況を報告した。 ・低入札価格調査対象工事の発生状況を報告した。 ・審議対象期間内の工事における1者応札の発生状況を報告した。 ・審議対象期間内の工事における不調・不落の発生状況を報告した。 ・審議対象期間内の工事における高落札率発生状況を報告した。	
		一般競争(政府調達以外)	6件		
		指名競争	1件		
		随意契約	1件		
	建設コンサルタント業務等		2件		
	役務の提供及び物品の製造		1件		
	少額随意契約(役務及び物品)		1件		
■委員からの意見・質問、 それに対する回答等			意見・質問	回 答	
			別紙のとおり	別紙のとおり	
■委員会による意見の 具申又は勧告の内容			な し		

意見・質問	回 答
I. 入札・契約手続き運用状況等についての報告 1. 総括表(工事、コンサル、物品、役務) 2. 指名停止等の運用状況 3. 談合情報関係 4. 工事の再度入札における一位不調状況 5. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 6. 工事における1者応札の発生状況 7. 工事における不調・不落の発生状況 8. 工事における高落札率の発生状況 9. 工事における1者応札の発生状況(詳細) 10. 工事における高落札率の発生状況(詳細) ○1者応札、不調・不落、高落札率の発生状況だが、令和5年度との比較について教えてほしい。 ○例年と比べ特別高い発生率ではないということで理解して良いか。 ○運用状況等について了承。 II. 抽出案件の審議 【一般競争方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事) 1. 長崎497号江迎トンネル新設工事 ○指名停止により1者資格なしとなっているが、公告後に指名停止となっているのか。 ○入札額が1番高い者が落札者となっているのは、施工体制評価点と加算点の合計が1番高かったからだと思慮するが、特にどういった項目が評価されたのか教えてほしい。 ○賃上げの実施に関する評価について、「結果確認後、賃上げ基準に達していない場合は減点する」となっているがどの時点での確認となるのか。 ○審議案件1. について了承。	○1社応札については1.7%の増、不調不落については2.67%の増、高落札率については0.16%の減となっている。 ○過去5年の発生率と比べても特別高い発生率ではない。 ○公告後の令和6年12月5日に指名停止になり、資格なしとなっている。 ○技術提案の1項目である「覆工コンクリート工における打継ぎ目の施工に関する工夫」が評価されている。 ○各企業が賃上げ表明した期間が終了した後に、実際に賃上げが実施されているか確認を行い、減点の対象となるか判断している。

意見・質問	回 答
【一般競争入札方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事以外・一般土木工事) 2. R6球磨川藤本・大門地区宅地等かさ上げ工事 3. 小川第2砂防堰堤(4期)工事 4. 大分河川国道管内電線共同溝工事 2. について ○1社入札で落札率が99.9%となっているが、要因は何か。 4. について ○参加可能者数が146者いたにもかかわらず、参加者が1者となっている要因を教えてください。 ○どの地域の電線共同溝工事も、この工事と同じように参加可能者数に対して参加者数が少ない状況か。 ○審議案件2. ～4. について了承。 【一般競争入札方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事以外・一般土木工事以外) 5. 令和6年度遠賀川河川事務所管内庁舎外改修工事 6. 令和7年度菊池川下流地区維持管理工事 7. R6東九州道遠隔式交通遮断設備設置その他工事 5. について ○同種の施工実績がないことで参加資格なしとなっているが、今回のケースを教えてください。また、一般的な事となるが、実績がない者が実績を積む方法があれば教えてください。	○落札率については、工事内容が全て標準歩掛を用いており、特別調査にて採用した単価についても公表を行っているため、官積の推測が容易であったと考えている。また、1社入札については、令和2年の球磨川豪雨災害の復旧工事など、多数の工事が発注されており、技術者や下請け業者の慢性的な不足が生じていると思われる。また、宅地かさ上げ工事は、所有者が実施する家屋のかさ上げ工事との調整を要することから、申請者が少なかったと推察している。 ○電線共同溝工事については、交通規制が伴うことから夜間工事を中心となり、交通規制の方法や沿道住民への騒音・振動対策に細心の注意を払う必要があるため、受注を敬遠する傾向にあると推察している。 ○他でも同様の傾向が見られる。対策として参加資格、実績の要件緩和や、一般土木で参加者が少ない場合、工種の変更なども選択肢に入れて競争性を確保していきたい。 ○平成21年度以降に元請けとして要件を満たす同種工事の施工実績を有することを求めているが、配置予定技術者が以前在籍していた別の会社での実績を提出されたため資格なしとなっている。実績については、直轄以外の自治体での実績を認める工事や、実績を求めない工事を何割か発注するように取り組んでいる。

意見・質問	回 答
○8箇所の様々な改修をまとめて発注しているが、一般的なのか特異なケースなのか教えてほしい。 7. について ○バルーン式の遮断機は稼働するとどのように、道路を遮断するのか教えてほしい。 ○審議案件5. ～7. について了承。 【指名競争入札方式】 (通常指名) 8. 宮崎法務分室（令6）建築改修工事 ○特になし。審議案件8. について了承。 【随意契約方式】 9. 令和6年度奈留地区災害土砂撤去（その4）工事 ○契約日が災害発生当日の10月22日になっていることと、落札率が99.9%と高落札率になっていることについて教えてほしい。 ○審議案件9. について了承。 【建設コンサルタント業務】 (簡易公募型競争) 10. 令和6年度の石川支川外用地調査等業務 (簡易公募型プロポーザル) 11. 令和6年度 高千穂雲海橋道路橋梁予備設計業務 ○特になし。審議案件10. 11. について了承。 【役務及び物品】 12. 令和6年度九州地方整備局映像情報共有化設備改造 ○契約理由書について、契約の日付けがないが随意契約結果書の連続資料という位置づけとなるのか。 ○審議案件12. について了承。	○業界とのヒヤリングにおいて、発注ロッドの拡大を望む声が多いことから、分散施工よりも発注ロッドの大小が重要視され则认为、まとめて1件の工事で発注した。 ○稼働すると空気注入によりバルーンを膨張させることで伸びていき道路を遮断する仕組みとなっている。格納時は空気を抜き手で格納を行う。 ○災害発生直後に、事前に災害協定を締結している当該業者へ、電話にて現地への出動と復旧作業の依頼を行い、協議書の送付、承諾書の受領を行っており、契約日については、協議・承諾の合意形成がとれた10月22日としている。高落札率については、請負業者からの見積りを基に積算しているためだと推測している。 ○契約理由書については、特定の者と契約した理由を説明するものであり、随意契約結果書に付随するものと思っ て頂いて良い。

意見・質問	回 答
【少額随意契約(役務及び物品)】 13. 防寒服外購入 ○1者辞退しているが辞退した理由を教えてください。 ○審議案件13. について了承。 Ⅲ. その他の審議 【参加者の有無を確認する公募手続き】 14. 前川排水機場ポンプ設備修繕工事 15. 牟田辺排水機場機械設備修繕工事 16. 板橋排水機場機械設備修繕工事 17. 鳴瀬排水機場ポンプ設備分解整備工事 18. 沖鶴排水機場ポンプ設備分解整備工事 19. 諫早排水機場1号機械設備修繕工事 20. 野田堰1号ゲート開閉機修繕工事 21. 菰入水門1号ゲート機械設備修繕工事 ○参加者の有無を確認する公募手続きを行って、制作メーカー以外で参加した実績はあるのか。 ○このような手続で行っても、製作メーカー以外が参加するのは難しい状況なのか。 審議案件14. ～21. について了承。 Ⅳ. 審議内容のとりまとめ ○意見具申は特になし。	○ヘルメットや安全靴等については、仕様としてミドリ安全のメーカーの物品と同等品としていたものの、辞退した社が同等品しか取り扱ってなく、価格的に他社には勝てないと判断して辞退をしたと聞いている。 ○今回抽出案件の「令和6年度九州地方整備局映像情報共有化設備改造」については、制作メーカー以外の参加があったが最終的には製作メーカーのみの1者となった。 ○今回参加した製作メーカー以外の者にヒヤリングをしたところ、人的なリソースが確保できなくなったこと、既設システムの改造に関して技術的に履行が可能か確認できない部分があったとのことだった。